

大日本生産黨九州各支部結成記念演説大會

- 一、日 時 昭和九年十一月十七日自午後六時四十分至同十時二十分
- 二、會 場 福岡市 記念館
- 三、參加人員 二〇〇名（内女三名）
- 四、閉會の挨拶 司會者 福岡支部書記長 山村 義 則
- 五、演説會の内容

○ 大日本生産黨關西本部遊説部員 太 田 岩 男

昭和六年九月十一日滿洲事變勃發して以來非常時の言葉が用ひられ聯盟を脱退してより一九三五、六年の危機が叫びて居る。非常時は何時解消するものであるか、全亞細亞から白色人種を驅逐し亞細亞人のものとする事が即ち非常時解消の結論である。之が東洋平和の盟主日本の使命である。亞細亞に於ては完全に獨立してゐる國は日本と滿洲の外に

はない、亞細亞の天然資源は五百七十億圓であり其内七割の四百億圓は英、米人に獨斷されてゐる、残りの百七十億圓を亞細亞の人口十一億人に割當てるならば僅かに一人百圓に足らぬ、これで一年を暮さねばならぬ有様だ、この大資源を亞細亞に取戻す事が必要である。日滿經濟ブロックのみにて吾々は満足してはいけぬ、皇道精神を以て世界に押進むならば非常時は解消し、世界は平和となるのだ。滿洲事變、國際聯盟脱退、五、一五事件から日本精神に立戻つた國民大衆は團結して皇道精神に邁進せねばならぬ、筑前人の愛國の熱情を以て、福岡支部を壓倒的支援を望む

○ 昭和維新斷行と青年の役割 青年部理事 青 野 正 一

軍艦下にある非常時は何時解消するやも知れざる時に當り陛下の青年として爆彈三勇士の精神を以て肉弾となり國家